

## 福井市との連携事業

### 新しい福井の特産野菜を目指して／福井市園芸センター ディノケールのロゴ・パッケージをデザインしました。

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 西畑 敏秀



短大と包括連携協定を結んでいる福井市の福井市園芸センター主導のもと、福井市の新たな特産野菜として若手農家さんたちが栽培を始めたイタリア野菜の「カーボロネロ」。カリウムやカルシウム、ビタミンCなど栄養価が非常に高く、そのレベルは野菜の中でもトップクラスですが、なかなか知名度も広がらず苦戦しているなか、新たに福井の恐竜にちなんで「ディノケール」と銘打って取り組むプロジェクトに生活デザイン専攻\_西畑ゼミの学生たちが参加しました。



11月23日／福井駅前ハピテラスで開催された「越前マルシェ」の会場ラジオ番組でアピール。



次々と訪れる方々に、ディノケールの魅力やネーミングの由来などを説明。



5月末／福井市園芸センターとの打ち合わせ。農家さんの課題や現状の問題点を把握。



6月／生産農家さんを訪れ、実際に収穫体験。初めて見る野菜に驚き、その場で生試食。



7月末／親しみやすい手書きイメージのロゴをあれこれ工夫しながらスケッチ。



10月／魅力を伝えるためのキャッチコピー提案。農家さんたちの投票でロゴマークとともに決定！

11月の公開・発表イベントに向けて、生産農家さんを訪れ苗植えや収穫体験を行い、新しいネーミングにふさわしいキャッチコピー34案とロゴマーク10案を10月にプレゼンテーション。農家さんたちの投票によって決定した案を元にパッケージデザインを進め、いよいよ11月23日にハピテラスで開催されたお披露目イベント「越前マルシェ」に、そろいのディノケールパーカーを着て参加。ライブの会場ラジオ番組にも生出演して来場者の方々に、ディノケールの魅力を発信しました。



▲スーパーや道の駅で販売中の商品  
◆決定したキャッチコピーとロゴマーク